

プレゼンテーション事業概要一覧

テーマ「環境保全・脱炭素」

NO	地方公共団体名	事業名	事業内容
1,	北海道三笠市	三笠市未利用エネルギー活用事業	2008年より未利用エネルギーの有効活用を目指し、石炭地下ガス化（UCG）の取組みを推進しています。現在は石炭のほか、同じく地域に豊富に存在する木質バイオマスを組み合わせたグリーンな水素製造事業として、ハイブリッド石炭地下ガス化事業に取り組んでいます。水素製造時に発生する二酸化炭素（CO2）は、地下に残る石炭採掘跡へ埋め戻すほか、農業などで利用することによって、事業全体でのCO2排出量ゼロを目指します。この事業は、地域資源を活用したエネルギーの地産地消や新たな産業・雇用の創出によるまちの活性化を目的としています。
2,	宮城県	みやぎ沿岸の森づくり・脱炭素の森づくり事業	「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」の実現に向け、グリーンでは沿岸地域の交流人口拡大に向けた取組や海岸防災林の保育・管理、ブルーでは新たな概念であるブルーカーボンやそれを生み出す藻場造成の普及啓発と実践支援、海藻養殖の増産、ブルークレジットの活用など、持続可能な漁場環境づくりにより、グリーンカーボン・ブルーカーボン両面から地球温暖化対策に取り組んでいます。また、伐採後造林されていない市町村有林を対象に、成長のよき花粉の少ない「スギ特定苗木」の植栽や保育経費を支援することで温室効果ガスを効果的に吸収する森づくりを推進し、脱炭素対策に取り組んでいます。
3,	栃木県那須塩原市	気候変動対策事業 ～未曾有の気候危機に立ち向かう！官民共創での気候変動対策～	気候変動への対策は、その原因となる温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制する「緩和」と、緩和を最大限実施して避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていく「適応」の考え方があります。那須塩原市では、「ここに住んでいれば生き延びられる」持続可能なまちの構築を目指し、緩和の取組と適応の取組を積極的かつ一体的に進めています。
4,	神奈川県横浜市	有機農産物活用事業	神奈川県産の有機農産物（オーガニック農産物）を取り入れた給食を学校独自の献立で試行する事業を実施します。試行実施の際に、緑や農との共存や食育の授業を合わせて実施することにより、環境負荷の低減や、持続可能な食料生産の促進等に対する児童の理解を促進します。
5,	神奈川県清川村	① 働きたい“仕事”をつくる(きれいな水と空気を創造する森林整備と間伐材利用の促進) ②) 行ってみたい“魅力”をつくる(宮ヶ瀬湖畔園地の広域的な取り組みによるブランディング推進)	森林保護の大切さを感じてもらえるように、観光客に森に入ってもらうための森林遊歩道の整備・新設(村主導)、及び湖畔園地内にアクティビティ施設を新設し(民間企業協働)、宮ヶ瀬湖畔園地の魅力を高め、観光客及び交流人口の増加を図る。 1) 森林涵養の為に伐採した間伐材の有効活用 * 間伐材を活用した森林遊歩道の整備及び新設 ・既存老朽化遊歩道の整備及びベトと一緒にハイキングができるような遊歩道を新設する ・水源環境を学習してもらったための遊歩道の設置と森林ワークショップの開催 * 間伐材を使用した案内看板に企業名を冠することにより、企業ブランディングに活かしていただく。 2) 行ってみたい“魅力”を作る事業 * 既存施設の整備：森林遊歩道(ハイキングコース)、水の郷大つ橋、バーベキュー場、他
6,	岐阜県	岐阜から世界へ 未来につながる持続可能な森林づくり	岐阜県は県土の81%を森林が占める森林県（全国2位）です。森林は木材など資源としての価値だけでなく、生物多様性や地球環境保全の機能、防災機能、豊かな自然とふれあう教育文化の機能など様々なポテンシャルを持っています。本県では、CO2の吸収に貢献する間伐はもちろんのこと、より自然に近いとされる針葉樹と広葉樹が混ざった森林への転換などの森林整備や、木材の新たな活用を積極的に進めています。また、子どもから大人まで森と木に関わる全ての方への森林教育（「ぎふ木育」）や人材育成などにも力を入れています。日本屈指の森林県「岐阜」で、森林をきっかけとした未来につながる持続可能な社会づくりに貢献する取組を行い、全国に、そして、世界に広がっていきます。
7,	京都府	天橋立公園松並木保全事業	国の特別名勝に指定されている「天橋立」は古くより「白砂青松」として親しまれてきましたが、現在、土壌の肥沃化や広葉樹の遷移が進んでいることにより、松の成長状況として好ましくない状況になっています。白砂青松にふさわしい景観を目指すため、土壌の改善や広葉樹などの伐採を行うことにより、松にとってよりよい生育環境と風通しの良い松並木を作り出します。また、松の剪定や松枯れにつながる病害虫の駆除などの適切な維持管理を行うことにより、マツの健全な成長を促し、病害虫から守ります。
8,	明石市	「ゼロカーボンあかし」や「ネイチャーポジティブ」の実現に向けて	明石市では、脱炭素化を進めながら自然と共存する未来を目指しています。脱炭素化では、太陽光発電設備やEVを導入しつつ、市域への補助金で推進を図っています。また、自然環境では、健全な生態系を守るため特定外来生物を駆除するなど取組を行っています。これらの取組をみなさんの応援で“もっと”推進し、持続可能なまちを目指します。 (①太陽光発電設備の導入、②公用車のEV化、③市民・事業者への設備導入補助、④生物多様性の保全、特定外来生物の駆除 など)
9,	兵庫県西脇市	自然と人にやさしい循環型農業推進プロジェクト	「日本のへそ」に位置する兵庫県西脇市では、ブランド牛として名高い「黒田庄和牛」をはじめ、酒蔵好適米として知られる「山田錦」、「金ゴマ」、「イチゴ」など、個性あふれる農畜産物を生産しています。これら高品質な農畜産物を生み出す背景には、豊富な水資源、適度に寒暖差のある気候に加えて、黒田庄和牛を中心とした西脇市独自の「循環型農業」が欠かせません。このプロジェクトでは、自然と人にやさしい循環型農業を通じて、農畜産物の高付加価値化、地産地消を推進し、農業価値の向上や人材育成に取り組む、持続可能な農業の実現を目指しています。
10,	香川県坂出市	AIを活用した環境教育の推進	次世代を担う子供たちに向けた、AIエージェントの導入を進めるもの。遠大なテーマになりがちな環境問題であるが、親しみやすいキャラクターとの対話を通して触れることで身近なものに感じられ、「自分ごと」として意識を高めていただくことができる。本市の「ゼロカーボンシティ実現」への使命を持ったAIエージェントを創り出し、自律的に啓蒙活動を進め、本市の施策への理解と参加を呼びかけていくもの。
11,	長崎県五島市	HEMS導入・再エネ電力促進事業	五島市は、四方を海に囲まれた地理的特性を活かし、「海洋再生可能エネルギーの島づくり」を推進しており、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しております。本事業は「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組みの一貫です。再エネ普及促進と電力の効率的な利用を目的に、家庭内の電力消費を見える化する「HEMS」という機器を設置します。これにより市民のエネルギーに対する意識向上と行動変容を促し、HEMS導入がエネルギー利用行動に与える影響を調査・分析します。
12,	熊本県阿蘇市	世界最大級のカルデラ内を満喫し大自然を未来につなぐプロジェクト	阿蘇くじゅう国立公園内の阿蘇の草原は、世界文化遺産登録を目指す貴重な地域資源で、先人たちが野焼きなどで守り育ててきました。私たちは、美しい田園や森林、草原、水を保全しながら、これらの潜在資源を活用して新たな産業・文化の魅力を創出し、阿蘇に関わる人々を増やし大自然を未来につなげます。観光や野焼きボランティアを通じて関係・交流人口を増やし、地域の魅力を皆様に発信し、持続可能な地域づくりを目指します。
13,	熊本県天草市	通詞島沖イルカ生態調査事業	天草市五和町通詞島沖の早崎海峡海域は野生のイルカが多数生息し、縄文時代からイルカと人（素潜り漁師）が共存・共生してきた歴史を持つことから、「奇跡の海」と言われているが、多くの市民にとって身近な自然環境が国際的に高い価値を持つことについての理解が不十分である。本事業では、当地に生息するイルカについて、生息数や遭遇場所、出産状況など基礎的な調査及びデータベース化を図り、次の取組を行う。 ・イルカと人の共存・共生の歴史を守る仕組みづくり ・イルカが生息し続ける「奇跡の海」を守る仕組みづくり ・教育、研究、環境、観光を軸とした本物の価値を残し繋げる仕組みづくり

テーマ「人材育成」

NO	地方公共団体名	事業名	事業内容
14,	茨城県桜川市	DX応用・実践研修業務	デジタル技術に関する知見を持ち市民ニーズに沿った施策を立案・推進することができる人材を育成するために研修を実施する。研修は2段階構成で、応用研修では全課を対象に座学及びグループワークを実施する。その後の実践研修では、職員の提案の中から、2事業をピックアップし、デジタルツールを活用し、課題の解消につなげ、市民の利便性を高める。
15,	埼玉県	高校生のキャリア教育・産業教育の推進事業	実社会で即戦力となる職業人材を継続的に育成するため、地元企業等と連携した質の高い職業教育を実施します。 また、農業関連分野への就職、進学者を増やすため、農業高校2校をモデル校としてスマート農業をはじめとした収益力のある農業を学ぶカリキュラムを開発し実施します。
16,	新潟県佐渡市	持続可能な島づくり～未来を築く人材総動員プロジェクト～	佐渡市では、島の未来を担う「人材」育成を軸に、持続可能な地域づくりを進めています。企業版ふるさと納税を通じて、島内外の多様な人材確保に加え、次世代を育てる教育への投資を強化。佐渡総合高校のスタートアップ部では、生徒が地域でのビジネスや地域課題の解決に挑む取組を展開しており、地元企業との連携により、学びが将来の仕事へとつながる循環を生み出しています。
17,	和歌山県	宇宙まちづくり推進「Kii Space HUB」事業	宇宙産業参入を目指し、あらゆる企業や人が集い、夢を実現する場所である「スペースエントランス」の実現に向けて、ポテンシャル調査、情報発信や各種支援を実施。宇宙産業人材の創出支援のため、県内の学生等を対象に、宇宙産業の理解を深めるセミナーや宇宙関連企業との交流会などを実施。
18,	和歌山県橋本市	“行きたくなる市役所”へ変貌！市民満足度向上とデジタル実装を担う「未来型ハイブリッド職員」育成プロジェクト	本事業は、市民に選ばれ「行きたくなる市役所」を目指す、行政サービスの質的向上を目的としています。職員に対し、市民の聴く力や共感力を高める専門的な接客スキル向上研修を実施することで、市民満足度の飛躍的な向上を図ります。同時に、庁内のデジタル変革を加速させるため、データ分析や生成AIを効果的に活用するDX人材を戦略的に育成します。これにより、漏れ対面サービスと効率的なデジタル利便性を両立できる「未来型ハイブリッド職員」集団を構築し、持続可能な行政経営と地域社会の発展に貢献します。
19,	広島県福山市	福山市立大学新学部開設に係る新棟整備事業	福山市立大学では、2027年（令和9年）4月に情報工学部の開設を予定しています。同学部の新棟の整備のために、ご協力いただける企業様を募集します。
20,	徳島県	①とくしま林業アカデミー運営支援事業、 ②新たな林業担い手確保事業	徳島県の充実した森林資源を「伐って、使って、植えて、育てる」循環利用を進め、地域経済の活性化を図るとともに、次世代に豊かな環境を引き継ぐため、①においては、林業現場の即戦力となる人材の養成を目指し、森林・林業に必要な知識や技術・資格を1年間で習得する林業アカデミーを運営します。また、②においては、林業事業体への就業を図るため、就業相談会や移住フェアの開催、広報活動を行うほか、林業現場での体験会を通じて、担い手の確保に向けたPR活動を実施します。

テーマ「関係人口の創出・拡大」

NO	地方公共団体名	事業名	事業内容
21,	斜里町	関係人口創出事業	「SHIRETOKO!SUSTAINABLE 海と、森と、人。」をコアバリューとする地域ブランディングを推進し、その魅力を戦略的かつ創造的に発信することで、知床・斜里町の価値に共感する関係人口や活躍人口を増やす。